

SDGsとは？

今、世界ではさまざまな問題が起こっています。開発途上国での貧困や国内での経済格差、不平等や差別、気候変動による自然災害など…。

これらの待ったなしの問題に対して、世界が共通して取り組んでいる目標が「SDGs（持続可能な開発目標）」です。（Sustainable Development Goalsの略）

SDGsは2015年、日本を含む193の国連加盟国の合意のもと採択されました。17のゴールと169のターゲット、231（重複除く）の指標で構成される、2030年までに「誰一人取り残さない」世界を目指す世界共通の目標です。



私たちには何ができるの？

例 家庭で余る食品などをフードバンクに寄附する

例 運動習慣や食生活を見直し、健康でいよう

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

例 通勤通学時に自動車を使わない日を週に1回つくる

例 必要な食材だけ買って食品ロスを削減しよう

自分にできることを考えて書き出してみよう！ ◎次ページに学校での取組も紹介していますので参考にしてみましょう。◎自宅の見えるところに貼って日頃から意識してみましょう。

ゴール番号

私にできる SDGs

ゴール番号



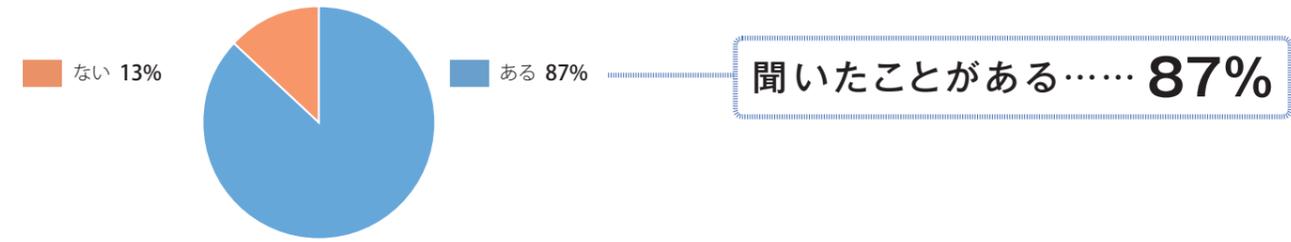
未来に向かって！今日から始めよう！

「SDGs」という言葉を聞いたことはあるけれど、「世界規模の問題で自分にできることはあるの?」と思っている人は多いのではないのでしょうか。SDGsの考え方や取組事例を知り、「SDGsってそもそも何?」「私たちには何ができるの?」という疑問を解消し、「自分にできること」を考え、日頃からSDGsを意識して行動してみましょう。

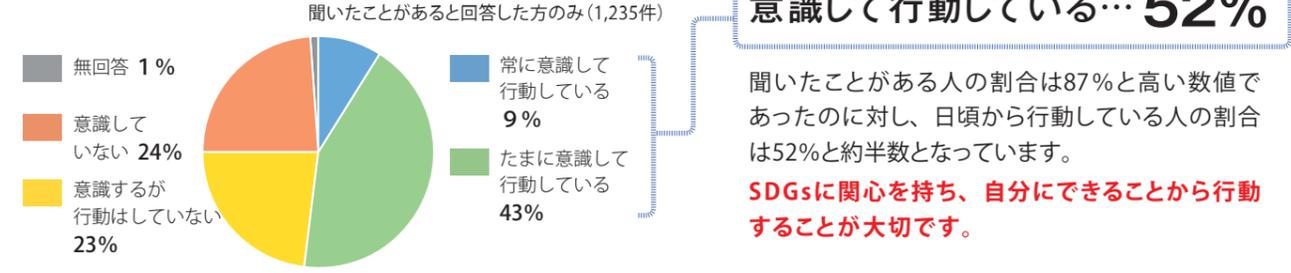
問 政策企画課 ☎23・5112

上田市民1,400人に聞きました

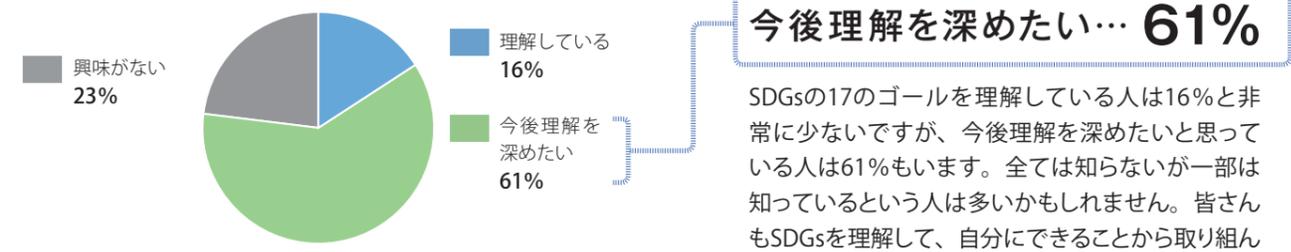
●「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか



●日常生活において「SDGs」を意識して行動していますか



●「SDGs」の17のゴールを概ね理解していますか



あなたも
次のページの事例を参考に、SDGsの取組を始めよう！

意識して行動している… 52%
聞いたことがある人の割合は87%と高い数値であったのに対し、日頃から行動している人の割合は52%と約半数となっています。
SDGsに関心を持ち、自分にできることから行動することが大切です。

今後理解を深めたい… 61%
SDGsの17のゴールを理解している人は16%と非常に少ないですが、今後理解を深めたいと思っている人は61%もいます。全ては知らないが一部は知っているという人は多いかもしれません。皆さんもSDGsを理解して、自分にできることから取り組んでみましょう。

市民向け意識アンケート調査結果
期間：令和4年12月12日～令和5年2月28日
回答数：1,421件
協力：第一生命保険株式会社（上田市と包括連携協定締結）



SDGsの取組は、いろいろなところで始まっています。ここでは、小中学校での取組を紹介します。個人で取り組むヒントが見つかるかも！

南小学校

SDGsの理解を深め、子どもたちの意識変容・行動変容につなげる取組

●若山尚子先生にお話を伺いました



世界が取り組むSDGsって何だろう？

ごみの学習で上田市のごみ処理施設の現状や、プラスチックごみによる海洋汚染を動画などで知り、「何とかしないとイケない！」という危機感を感じたことがきっかけで子どもたちとSDGsの取組を開始しました。

「ごみを減らして、生き物も人間も住みやすい地球にしたい！」という願いから、さまざまな取組を実践してきました。

SDGsについて理解を深め、「自分ごと」化へ

①ポスターを作成

「ごみを減らそう」と呼びかけるポスターを作成し、市内店舗に児童が自ら交渉して掲示してもらいました。



②自分たちで野菜を育てよう！

プランターで野菜を育てて食べてみよう！と、野菜栽培に挑戦しました。高温や虫による病気でうまく育てることができませんでしたが、この経験から野菜を育てるのはすごく大変で、農家の方が苦労して作っていることを実感し、食べ物



を大切にしようという意識が強くなりました。

③藍染めに挑戦

地域の講師の方に教わりながら、藍染めに挑戦しました。自分で作ったものは大事に使用したくなり、「つくる責任つかう責任」を意識するようになりました。また、地域の自然環境を大事にしようと思うきっかけにもなりました。



第三中学校

SDGsを切り口に、地域とともに歩む学校を目指した取組

●下村京子先生にお話を伺いました



総合学習の時間を活用

1年時には地域の魅力を再発見する学習、2年時には職場体験学習を通して、「職業と地域の課題解決に密接な関係があること」を知りました。

3年時にはワールドキャンパス・インターナショナル(WCI)との交流を通して、外国の学生とSDGsをテーマに意見を出し合う機会を得ました。



WCIとの交流

WCIは、ホームステイしながら日本文化を学び、各地で地域交流活動を行う国際教育団体です。

世界共通のテーマであるSDGsについて、3学年の全4クラスが、WCIの36人10か国と交流しました。SDGsのゴールごとにグループに

分かれ、ワークシートを活用して意見交換しました。



生徒の変化、気づき

交流した生徒たちは、世界各国の若者と意見交換したことで、広い視野を持つようになりました。学校生活だけでなく地域にも視野を広げ、自分たちが地域貢献の主体であることを自覚できました。

また、これから進路を考えるうえで、SDGsを切り口に地域の課題解決にも関心を持つことで、自分がどの分野で活躍していきたいのかを考えるきっかけになったと思います。

児童たちの「気づき」、理解の「深化」へ

さまざまな取組を進める中で、新たな発見があり、SDGsの理解を深め、活動に取り組んでいます。

①届けよう、服のチカラプロジェクト

UNIQLOさんのプロジェクトに参加。使わなくなった服を全校で集め、段ボール32箱分の服を難民の子どもたちに届けました。

②米袋マイバッグ

エコバッグを持ち歩く人は増えてきましたが、プラスチックのマイバッグが多く、海洋プラスチックの問題につながってしまうのでは考えました。そこで、米袋であればプラスチックを使用していないうえに頑丈だと思い、米袋のマイバッグを作成しました。



生徒が感じたこと(抜粋)

- ・私たちが緊張しないように話してくれた。
- ・人の意見を尊重する。
- ・自分の意見を言ったら「日本ではどう？」と聞いてくれたのがよかった。
- ・知識量がすごいと感じた。
- ・ジェスチャーを使う、調べる、絵を描くなどで、分かりやすく説明していた。
- ・こちらが言っていることを、がんばって理解しようとしてくれたのうれしかった。



生徒会での取組

①ペットボトルキャップ回収
廊下などにビラを掲示して校内で呼びかけることで日常的に目にするようになり、生徒の意識付けにつながっています。

校内外へ発信

①SDGsクイズ

たくさんの方にSDGsを広めるため、SDGsクイズを作成しました。低学年の児童でもSDGsに興味を持ってきつかけになりました。

②上田地産産業展での発表

私たちは消費者として買うものを考えて選ぶことができます。包装にプラスチックを使っていないものを選ぶなど、これは一人一人の選択で、企業を動かす力があるということだと感じました。SDGsに取り組む企業を応援したいという思いから発表に至りました。



メッセージ

まず一歩踏み出してやってみる事です。ひとりで100個やるのは大変ですが、100人で1個ずつなら、みんなで楽しみながら取り組みます。みんなで少しずつ協力して「大切な地球」を守っていきましょう。

メッセージ
本校は地域の皆さんに支えられて学校活動を進めてきました。これからも地域との交流・連携を大事にし、持続可能な地域づくりを目指していきます。

②花ボランティアさんと
地域の花ボランティアさんとともに花壇の整備をしています。夏休みにも、生徒が登校する前から整備をしてくださる地域の方々に支えられています。



③ごみ収集と分別

清美委員会で、ごみ収集と分別活動を継続しています。毎日、地道にごみの分別をしており、日頃から意識高く取り組んでいます。



SDGsひろば

市内団体などのSDGsの取組を紹介するコーナー。

第一生命保険株式会社

第一生命は市内に3つの拠点があり、各拠点で地域の方々を巻き込んだ活動を行っています。上田/上田第二営業オフィスでは、フードロス・SDGsの趣旨にご賛同いただいた地元農家の方々などの協力・ご支援をいただき、「果物・野菜の袋詰め放題イベント」を行い、大変盛況でした。丸子営業オフィスでは、丸子いきいきフェスティバルなどへ子ども服や古切手の寄贈を行い、地域貢献の一環として継続したりサイクル活動を行っています。また、各イベントの際には「血管年齢測定」などの体験イベントも実施し、健康増進に関する情報提供を行っています。今後もSDGsの課題解決に向け、趣向をこらしたイベントを実施していきますので、お気軽にご参加ください。



フードロスイベントの様子



丸子いきいきフェスティバルの様子



第一生命ホームページ



SDGs未来都市
SDGsを推進する自治体の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として日本政府が選定。2018(平成30)年から2024(令和6)年までの7年間で210都市選定予定。上田市は2022年に選定。



スタートアップシンポジウム
令和5年2月18日開催。
前半・お笑い芸人によるSDGsクイズの実施など
後半・市内高校生や大学生によるSDGsの取組発表